

会議の概要

令和5年度 第5回 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

- 兼
- 大山幼稚園学校運営協議会
 - 玉井幼稚園学校運営協議会
 - 大山小学校学校運営協議会
 - 玉井小学校学校運営協議会
 - 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和5年10月4日（水）18:30～20:30

場 所：改善センター 全体会：多目的ホール（1階）

分科会Ⅰ：大山幼・玉井幼…多目的ホール、大玉中…健康相談室（1階）
玉井小…農事研修室、大山小…農事相談室（2階）

分科会Ⅱ：スポーツ交流イベント…多目的ホール

昔遊び・グラウンドゴルフ部…多目的ホール

大名倉山登山部…健康相談室、安達太良ふれあい登山部…農事研修室

オリエンテーリング部…農事相談室、ミニ運動会部…視聴覚室

（進行 指導主事 渡邊 博樹）

1 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 館下 愛理）

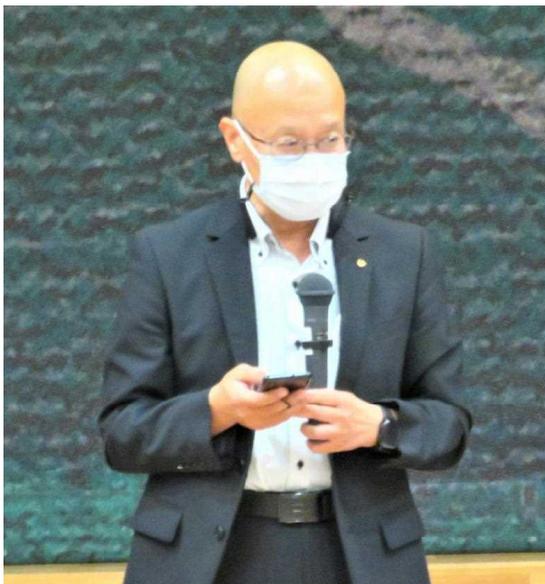
これから令和5年度第5回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を始めます。よろしくお願いいたします。

2 教育長あいさつ （大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘）

みなさん、こんばんは。第5回CS委員会にお集まりいただきましてありがとうございます。まずは、先日10月1日（日）に延期し実施しました“おおたま・オータム・フェスタ”にご協力いただきましたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今回、前日や当日の天候変化のために一部中止になったところもありますし、実施に当たっても数々の変更や臨機応変な対応等をしていただいたりして、みなさんにご苦労とご負担をおかけしたことを大変申し訳なく思っています。しかしながら、そのような状況の中でもみなさんのご尽力によって、けがや体調不良等がなく実施し終了できました。また、まだ全部のアンケートはあがってきておりませんが、子どもたちからは「楽しかった」、「やれてよかった」というような声も聞かれています。実施した意味というのはしっかりあったのかなと捉えているところです。ただ、天候や実施場所の状況の想定に甘さがあったことは反省点ですし、今回の状況から改めて見えてきた課題もたくさんあったように思っております。

そこで、本日の委員会については、当初予定しておりました内容を一部変更させていただいて、小・中学生版の“おおたま・オータム・フェスタ”についての反省の時間をとるよう変更しました。この変更についてご理解をいただきますとともに、今後に向けた改善や工夫についてご意見をいただきたいと思っております。

なお、当初予定しておりましたコミュニティ広場関連の協議については、大まかな方向性のみの協



議に絞って行いたいと思っておりますので、その点についても併せてご了承願いたいただきたいと思いません。それでは、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ (おおたま学園CS委員会会長 矢吹 吉信)

みなさん、改めましてお晩でございます。お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。10月1日の“おおたま・オータム・フェスタ”ではみなさんのご協力をいただきまして、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

教育長からもお話がありましたが、天候にかなり左右されたということで、課題や改善点があるかと思えます。今日は、渡邊指導主事と教育長にお願いをして、内容をちょっと変えていただきました。時間が経つにつれて、忘れてしまい「どうだったかな?」という話になってしまいますので、今日は改善点、反省点をみなさんに出していただきたいと思えます。まだ熱いうちに「こうした方がいいんじゃないの?」、「ああした方がよかったよね」等の話を出していただいて、来年もっとよりよいものにしていきたいと考えております。また、けがをする子がいなかったという報告を受けまして、「本当によかったな」、「やってよかったな」と思っております。



その他にもコミュニティ広場の内容、学力テストの結果説明等もあって、1回グループ毎に集まって、終了後戻ってきて、また別会場に行くというような行ったり来たりする会議になってしまいますが、みなさんにいろいろご意見を出していただいて、子どもたちのためになるよりよいものにしていきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

以上です。本日はよろしくお願いいたします。

4 諸連絡 本日の日程・内容について (指導主事 渡邊 博樹)

本日は大きく分けて以下の3点について協議を進める。

- 第5回コミュニティ広場について
 - 事務局より説明、質疑応答 (全体会)
- 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果【大玉村概要】、令和5年度 ふくしま学力調査結果【大玉村概要】について
 - ① 事務局より結果の説明、質疑応答 (全体会)
 - ② 各園・各校での協議 (分科会)
 - ・学校や地域・家庭でできそうなこと、やってみたいこと
 - ・グループ … 大山幼・玉井幼、玉井小、大山小、大玉中
 - ③ 全体での共有 (全体会場<多目的ホール>に戻って)
- おおたま・オータム・フェスタの課題と改善点について → 記録用紙を準備したので後で提出
 - ① 事務局より説明、質疑応答 (全体会)
 - ② 小グループによる熟議 (分科会) … 課題・改善点について
 - ③ 全体での共有 (全体会場<多目的ホール>に戻って)

5 協議 (座長 おおたま学園CS委員会副会長 浅和 博栄)

(1) 第5回コミュニティ広場 (第15回教育フォーラム) について

(座長) それでは、第5回コミュニティ広場について事務局より説明をお願いします。

① 事務局より説明（渡邊指導主事） — 資料に基づいて説明 —

- 目的 ○ 日時 令和6年2月17日（土）9：00～11：30（8：45受付）
- 会場 改善センター
- 参加者 → 125名程度（今年度も人数を限定して実施する）
 - ・ 来賓3 ・ 近隣市町村来賓5 ・ 教育委員4 ・ CS委員25 ・ 村P連会長1
 - ・ 児童生徒32 ・ 企業・各種団体関係者3 ・ 村地域学校協働活動推進会議委員6
 - ・ 保護者21～24 ・ 教職員16
 - ・ 学生5
- 内容・方法
 - <第1部>
 - ・ 小・中学校の発表（各校ごと）
 - ※ 2/17 ライブ配信、以降アーカイブ配信
 - ・ テーマ「伝えよう！大玉村の魅力と未来」… 総合で学んだことの発表
 - <第2部>
 - ・ 参加者によるグループ毎のフリートーク<16グループ（1グループ6～8人）>
 - ・ グループで話し合ったことの共有
 - ・ テーマ 1部の内容と切り離して、別のテーマで熟議をする
- 日程について…例年とほぼ同じ日程で（午前中）



（座長） 只今事務局より説明がありました。ご協議いただきたいということで、今までは“第1部の内容を受けて第2部でみんなで話し合う”という流れだったのですが、今年度については第1部と第2部を切り離して、第2部をどのような内容で進めたらいいかということです。

渡邊指導主事から下記のように例示されています。

○ 1部と2部を切り離して考えるなら次のようなテーマを設定し、総合の学習の発表と切り離して話し合っはどうか。

例：「子どもたちが自ら学ぶようになるためにはどうしたらよいか」

「他人を尊重し、個性が活かされる村にするためにはどうしたらよいか」

「SNSを自己コントロールし、未来のよき使い手になるためにはどうしたらよいか」

まず、第1部と第2部を違う内容で進めるのはどうかということで、みなさんの意見を頂戴したいと思います。

（館下副会長） 小・中学生が発表してくれたことに対して、集まって話すという流れでも十分にいいと思います。でも、その内容だけに絞ってしまうために、集まった人たちで子どもたちの思いについて意見や考えを十分に深めることが難しかったのも事実です。切り離して例にあったような内容で話し合うと、それぞれの子どもたちがどういう考えでいるのかを聞けたりしていいんじゃないかなと思いました。私は、この切り離してというのがいいと思います。

（大内委員） 去年参加させていただきましたが、2部も1部の発表と同じような話になってしまっていました。この例のように全く別のテーマに変えて話し合うと、子どもの考えを聞けるので個人的にはそれでいいと思います。

（麻生委員） 小・中学生が何のために発表しているかということ、それは「村を変えたい」という気持ち

からではないかと前から思っていました。そして、それに対する大人の返事がなかなかできないということを心苦しく感じていました。だから、第2部で子ども議会のようなことをして、議員さんや村長さんに来てもらって、その場で大人の意見を言ってもらったり、子どもの柔らかな発想でこれから自分たちが住んでいく地域なので、何か意見を取り入れてもらったりして村政に生かしてもらおうといいなと思っています。ワンクッション置いて、私たちが議員さんをお願いすることもできるのですが、直接第2部の熟議を聞いてもらうのはどうかなと思っていました。

(座長) そうすると、1部に関連付けた内容でそれを進めていくためにはどうしていったらいいかを2部で大人と一緒に話し合うということですね。貴重なご意見をありがとうございます。

その他にご意見があればお願いします。

では、よろしいでしょうか…。

(協議時間が) 10分間ということで予定されているわけですが、今、切り離して別のテーマで話し合うのがいいという意見と、今までと内容を少し変えた形で第2部を実施するというご意見をいただいたところですが…。

(渡邊指導主事) 麻生委員さんのおっしゃることは素晴らしいと思います。ただ、子どもたちが考えたことを本当に実現できるのかを話し合っ、その場で地域の大人や議員さん等から「やはり実現できないね」という話を子どもにするのはちょっと酷かなというところもあり、それは難しいかなとも思っています。

その辺について、そしてテーマの設定についてもまだ全体的にも確認はしていないのですが、校長会としてテーマを設定していくわけですが…。

切り離す方向でいかがでしょうか。今のところそんなふうには考えてはいるのですが…。

(座長) 「やり方を変えて第2部を進める」といった貴重なご意見もいただいたのですが、そういうことを加味しながら、第2部に関連したテーマを決めるというようなことで進めていければという先生方の意向もありますので、そのようなことでいかがでしょうか。新たな取り組みにはなりますが、テーマを先生方の方で決めていただいて進めるということで行きたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

(2) 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果【大玉村概要】、令和5年度 ふくしま学力調査結果【大玉村概要】について

(座長) 次に令和5年度 全国学力・学習状況調査結果、令和4年度 ふくしま学力調査結果について事務局より説明願います。

① 事務局より説明 (渡邊指導主事)

～ 詳細は省略 ～

(座長) 7時39分頃から全体共有を行いますのでそれまで熟議をお願いします。ご移動ください。

～ 移動 ～

② 小グループによる熟議 (各園・各校ごと)



③ 全体での共有

(座長) 全員お揃いの方です、全体共有ということで進めていきます。大玉中学校からお願いします。

ア 大玉中学校 (大玉中学校長 久保寺 徹)

小・中学校の学力分布の傾向がほぼ同じである。子どもたち個々の学力をもうワンランクアップさせたい。そのために…

- 「分かる」、「できる」という学習の楽しさを味わわせる授業の実践 → 楽しい学校に！
- CSやおおたま学園等の実践により行事等を通して子どもたちの交流は図られているので、今後教員の連携(交流)として何かできないだろうか。
 - ・教員の交流(小学校→中学校、中学校→小学校)を図る。子どもたちが目をキラキラと輝かせるような授業実践(ex.中学校の理科の先生が小学校で理科の授業をする等)



イ 大山小学校

(大山小学校長 齋藤 和久)

- 6年生は、学習や生活等で頑張っており、成長している。あと半年で力をつけて中学校に入学できるよう指導していきたい。
 - ・学級経営をさらに充実させる。
 - ・今回の学力テストの結果を分析し、つまづき等を把握するとともに、授業研究を中心とした校内研究を進めながら、児童の学力のレベルを上げていく。
- 5年生の自己肯定感が低いのが気になる。子どもに対してかける言葉(発問)を工夫しながら、自信を持って授業に臨めるようにしていく。
- 英語の学習は小学校から始まっているので力をつけさせたい。
 - ・自然に英語にふれるような授業をする。(ex.英語の歌が入るとなじみやすい)
 - ・家庭学習にも取り入れるようにする。

ウ 玉井小学校 (玉井小学校長 佐藤 則之)

- 6年生の読む能力は全国レベルにあるが、書く力がやや不足している状況である。テストでは「読み取ったことをもとに〇〇を〇〇字以内で書く」というふうな条件がついていた。
 - ・条件をつけて書く経験の積み重ねが不足していたのかもしれない。
 - ・日々の各教科の書く活動の際に、ちょっと条件をつけながら取り組むようにさせる。(ex.「時数を決めて書く」、「〇〇について書く」等)
- 5年生と中学2年生の自己有用感の低さについては、しっかり個々の実態をとらえ対応していく必要がある。
 - ・教職員は、「人権教育」、「学級集団づくり」、「地域と共に歩む学校づくり」を意識して学級経営を進めていく必要がある。(校長、教頭も入って)

エ 大山幼稚園・玉井幼稚園 (玉井幼稚園副園長 後藤弥和子)

- デジタルにふれる機会が激増してきている。だからこそ、子どもの成長にとってアナログである(幼稚園で行っている)折り紙やブロックは大事であり、家庭においても必要である。
 - ・きっかけ作りが大事
 - クリスマスの時期に、家で作ったもの(折った作品)を幼稚園に持ってきてもらって壁面

に飾る。親子で楽しみながら活動（作業）することに意味がある。

(座長) ありがとうございました。とても具体的なお話でした。では、全体共有した中でみなさんからご質問したいことがあればお願いします。

(CS委員)・・・(特にない様子)・・・

(座長) よろしいですか。それでは、学力関係の調査については以上になります。今使用した資料は後ほど回収しますので、持ち帰りのないようお願いします。

(3) おおたま・オータム・フェスタの課題と改善点について

(座長) 次に「(2) おおたま・オータム・フェスタの課題と改善点について」に移ります。事務局より説明をお願いします。

① 事務局より説明

(渡邊指導主事) この後、(要項の9ページにありますように) 課題や改善についてお話しいただき、来年度に向けて生かしていければと思います。なお、アンケートはまだ締め切りになっておりませんが、これまでも様々なご意見がありました。「雨が降っているのに登山はどうなのか」、「代替案はなかったのか」等) そういったことことも含めて、課題をあらいざらい出していただき、それに向けての改善点について話し合っていたいただきたいと思います。

なお、大名倉山登山は今回実施できなかったのですが、実施できない場合その後どうしたらいいのかについて話し合っていたいただければと思います。幼稚園はこれから実施するので、最終確認をしていただき、時間が余った時には気になる活動のところに移動していただければと思います。記録用紙をお渡ししますのでよろしくお願いします。始めに司会、記録の係を決めてご協議ください。

(座長) グループ編成については要項の6ページをご覧ください。移動をお願いします。

～ 移 動 ～

② 小グループによる熟議 (おおたま・オータム・フェスタについて)



③ 全体で共有（各グループ2分程度）

（座長）各グループの熟議お疲れさまでした。今から全体での共有ということで進めていきたいと思います。「昔遊び・グラウンドゴルフ部」からお願いします。

ア 昔遊び・グラウンドゴルフ部（学校教育係長 遊佐佳織）

- 活動について
 - ・天候（雨）の中で開催するという事を事前に考えておいて、対応できるようにしておけばよかった。前日判断ではあるが、開催をするかしないかについて防災無線で知らせた方が保護者も分かり易くてよかった。
 - ・グラウンドでやる活動ができなくなった。（子どもたちの）グループの時間が空くということが起きてしまい、急遽中学生が体育館の中で空いた時間を使っていろいろな工夫をして小学生を遊ばせてくれた。その分子どもの数が増えてしまって、スペースが狭くて子どもが遊びながら追いかっこをしたりして、ぶつかりそうになり危ない場面もあった。
 - ・雨天時に校舎内も活用できればよかった。
 - ・最初からの対応としては、雨の日でもできるもの、場所をとらずに屋内でもできるものを増やす。（ex.あやとり、ゴム跳び等）
- 全体的なこと
 - ・手が足りなかったという印象。今回雨でグラウンドの活動ができなかった分、その方たちの手もお借りしたのだが、それでも不足していた。手が足りない遊びについてはずっと大変で、出しっぱなしだったりしたので、何か別の方法を考えられればよかった。ボランティアの方にももう少し多く来てもらえるとそういうところもカバーできたのかなという意見も出た。
 - ・グループの回り方をもう少し分かりやすくする工夫が必要だった。放送がその都度入ったのだが聞きづらかった。体育館の構造上仕方がない部分もあったが、もう少し分かりやすくしたかった。
 - ・人数が多くなったのも影響しているのかもしれないが、班から外れてしまってちょっとどこに行ったのか分からなくなってしまった子がいた。（その子には先生がついていたので大丈夫だったが…）心配な子には先生等についてもらうようにするとよい。
 - ・手が足りなかったのも事実であったが、そんな中でも先生方や担当者の負担はとても大きかったので、来年度からはどうにかそれを軽減できるような方法を考えていかないといけない。具体的な改善点について今後検討する必要がある。

イ 大名倉山登山（玉井小学校長）

- 今回は現地に着いたときの雨の状況や登山道の状況を踏まえ、子どもたちの安全を考え登山を中止した。CS委員の皆さんや講師の方のアドバイスをいただきながら判断した。
- オータム・フェスタのいろんな活動がある中で、登山として安達太良山登山と大名倉山登山の2つがあるが、実施可否については安達太良山登山を基準に決めることになっている。今回は、安達太良山登山はできたが、大名倉山登山はできなかったという結果になってしまった。そういう状況を想定していなかったことが一つの反省点である。（今までの実施の判断基準は、もし安達太良山登山ができなかったら全ての活動をやらないということ）
- 今年は、各部で外は使わないが屋内でやってみたとか、そういう柔軟な対応で実施できたこともあるので、そういうことが今後の改善点の1つだと思う。
- 天候のことを考えると、実際に登山はどうなんだろうか。実施の可能性については他の活動と比べると厳しいものがある。“ふるさとの山に登る数少ない機会であること”、“家族や単独で登るのは難しいが、行事としてなら登るよい機会になっている”という現実もあって、登山をなくすことは難しいのではないかという意見もある。登山がダメな場合の代替案を設定しておくようにする。（ex.村民体育館や屋内運動場を使って、玉井小と大山小の子どもたちの交流活動をする等）具体的な案については、年度内にある程度話を進めて作っておくようにしたい。

ウ 安達太良登山部 (渡邊指導主事)

- 実施の判断が正しかったのかどうかということ
あたら山の会、安達太良を知る会の方々を中心になって判断基準（安達太良山の木道の切れる所まで登ってみて、そこでもっと上まで行くか引き返すかを判断する）をつくって、最終的に部長が決定をした。
行けると判断して登ったわけなのだが、やはり小学4年生としてはどうだったのかを考えてみると課題が残った。頂上は寒かったし風も強かった。それから、ぬかるんでいる所があって、登る時よりも下る時の方が危なかった。
- 保護者ボランティアは、自分の子と別の班にしてあったのだが、休憩になると子どもが親の所に寄って行って甘えてしまうことがあった。保護者ボランティアは必要なのだろうかという反省もあった。
- 安達太良山登山をオータム・フェスタから外すのか、あるいは思い切って止めてしまうのか、あるいは代替案をもって実施するのか等検討が必要であるという意見もあった。大名倉山登山が中止になって、大山小の3年生が学校に戻ってからドッジボールをやったということだったが、そこに玉井小の3年生もいたらよかったという話もあった。そんな代替案を考えるのも一つの方法だと思う。

エ オリエンテーリング部 (大山小学校長)

- 活動は10月1日に延期になったが、フォレストパークのその日の利用まで予約していなかった(=誰も気付いていなかったということ)。運良く空いていたため事なきを得たが、これからは2日間予約しておくようにする。また、誰がそれをするのか明確にしておく。大山小の三田教諭が庶務を努めたわけだが、庶務と教育委員会がそれぞれに準備を進めていた。チェックリストを作っておいて漏れが出ないようにしたい。今年度中に作り来年度に生かせるようにする。
- テントを持っていったが本部用に使うことができた。今後必要である。
- 支援を必要とする子の対応のし方について事前に話し合っておく必要がある。最終打合せの際に行うようにする。
- 児童・生徒の現地集合が10時前で実施可否の判断が10時であったため、雨が上がって実施できた。(幸運だった)
- 昼食をみんなでとれたのがよかった。久しぶりに小・中学生が混じって楽しく食べることができた。ただ、昼食をとってからバスの出発までの時間がかかりあって、閉会式が長すぎたので、時間の使い方に工夫が必要だと感じた。
- 今回はお弁当を集めて袋に入れておくことにした。それ自体はよかったと思うが、袋が小さかったために入れずらかったという反省があった。
- 傘を持ってきた子がいて、気がついたときには競技スタートになってしまった。杖代わりにして歩いていた子もいたが、事前に荷物や傘等を置いてから活動をさせた方がよかった。
- 実施要項のマップの広場の名前が間違っていたので訂正する。
- 天候に左右される競技であるので、これも登山と同様に代替案を作っておきたい。また、利用施設とのからみもあるので、実施するに当たっては難しい部分があることが分かった。

オ ミニ運動会部 (生涯学習課長 渡辺 雅彦)

<成果と課題>

- 雨天時の実施であったが臨機応変にできていた。
- 体育館で行うよう変更になったことを分からずに帰ってしまった保護者がいた。雨天時の対応について周知が不十分であった。

<改善策>

- 通知文書、メール等細かな連絡等が必要である。(下校時刻も含めて…下校時刻が早まり、歩いて帰る子もいた)

(3) 全体での意見交流

(座長) 貴重なご意見ありがとうございました。今回は雨天時の対応ということがテーマになってくるかと思います。みなさんからご意見等ありましたらお願いします。全体を通してでも構いません。

(CS委員) ……(特にない様子)……

(座長) 特にないようですが、これまで様々な課題や改善点が出されております。これで協議を終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。

6 その他

○ 「おおたまコミュニティフェスタ」について (CS委員 斎藤 大将)

今月の10月29日(日)、改善センター芝生広場で第4回おおたまコミュニティフェスタを開催することになりました。実行委員である大玉中学校生徒12名(1~3年)が一から企画してつくり上げたものです。会議(実行委員会)も残すところあと2回となりました。

去年と比べさらに魅力あるイベントになっていると思いますので、みなさん、ぜひ仮装してご来場くださるようお願いします。

○ 事務局より (社会教育係長 田辺 将司)

- ・CS委員の委員報酬について
- オータム・フェスタアンケート 10/10まで
- 学力テスト資料、部会記録用紙回収

7 閉会のことば

(おおたま学園CS委員会副会長 吉田 都)

みなさま、お疲れさまでした。長時間に渡りありがとうございました。以上をもちまして令和5年度第5回おおたま学園CS委員会を終了します。寒くなりましたので暖かくしてお帰りください。ありがとうございました。

